

精華人

SEIKAJIN

過去と現在、
そして未来

特集 対談

京都精華大学 学長 澤田 昌人 氏
京都精華大学 同窓会 本野会 会長 永井 利行 氏

02

京都精華大学 HISTORY MAP

03

各支部の取り組み

11

卒業生インタビュー・寄稿

イラストレーター・漫画家 福々ちえ さん

12

4WD 専門カーショップ『4WD PROJECT』社長 西川 和久 さん

14

エヌティエイシヤン・ビューティアドバイザー、

LGBTQ+・トランスジェンダー・アクティビスト 高野 晶 さん

16

本野会「在学生支援事業」のご報告

18

対談

京都精華大学 学長

澤田 昌人

×

京都精華大学 同窓会 木野会 会長

永井 利行

社会が大きく変化するなかで、
今も昔も変わらない精華らしさ、
そして大学としての新たなビジョンとは。
ときに学内を歩きながら、
ときにじっくりと腰掛けて。
学長と会長にざっくりばらんに語ってもらった。



自然と受け継がれる精華の空気感

永井 今日はおよろしくお願ひします。僕は1992年入学、95年の卒業なんですが、澤田さんが精華に来られたのはいつごろですか。

澤田 こちらこそよろしくお願ひします。97年からです。精華に来たばかりのときは、女性の先生方がすごくパワフルな大学だと

というのが印象的でした。それは今も変わっていませんね。あとは、学生と教員や職員との関係が全然違うことにも驚きましたね。

永井 距離が近いですよ。

澤田 それまでいた大学とは、根本的に違いました。今の学生とは年齢が開いてきたので、昔のような距離感ではなくなってきたか

などと思いますが、若い先生方と学生との距離感は、今でも他大学より近いように思います。

永井 僕も、先生方はもちろんですが、いまだに職員の方とも親交があります。年賀状のやりとりを続けている方もいますし、東海支部の集まりに参加して下さる方もいらっしやいます。その方は、卒業後も社会人でバレーを続けている、元バレー部の人たちの試



※1 この言葉は清風館外壁に埋め込まれた銘板に刻まれており、京都精華短期大学の1968年入学案内に書かれた言葉でもある。
※2 ヨーロッパ中世都市の法律にまつることわざ。農村部から都市へと逃亡した農奴は、満1年を過ぎればその身分から解放され、自由な身分になったこと（都市法）に由来。

合の応援に行ったりもしているそうです。

澤田 学生と職員がそんなふうに関係を築いているのは、かなり珍しいことですよ。教員と職員の距離感も、昔より人数が増えているので一概にはいえませんが、色々と相談をしゃったり、頻繁にコミュニケーションをとっているように思います。

初代学長・岡本清一は『大学は学問と教育と深い友情とを発見する場所である』（※1）という言葉を残しています。大学の出発点に書かれたこの考え方が、少なからず教職員の間にも根付いているんじゃないでしょうか。この言葉がまさに、この大学の存在理由の一つであり、今も昔も、そういう場所を提供することが大切だという考えのもとに、学生と接しているような気がします。特に研修などで伝えているわけでもないんですが、周りにいる先輩方のように見たりして、そういう姿勢が引き継がれているのは、精華らしさのひとつでもあるのかなと思います。

永井 それは学生の間にも、似たようなところがあるなと思います。流溪館の前にある石碑に刻まれた『自由自治』。言葉の捉え方は人や時代によって違ってもいいかもしれませんが、先輩方から色々な話を聞いて、下の世代に話

していくことで、なんとなく精華らしい「自由な空気」が引き継がれていっているような気がします。『都市の空気は自由にする（※2）』という言葉がありますが、「精華の空気は自由にする」みたいな感じがありますよね。

コロナ禍による変化

澤田 そうは言いながらも、やはり新型コロナウイルスの影響によって変わったこと、変わらざるを得なかったこともあります。例えば、20年の3月から半年ほどの学内は、ほぼ無人の状態でした。だからなのか、特に今の2、3回生は、先輩や同期生たちと接することで自然と学んでいた、大学での過ごし方みたいなものがあまり身につけていない印象です。教員の間でも話題になっていて、講義をやっているけど、どこか感覚が違います。

永井 そうか、新歓とか木野祭とかもできなくて、今まで当たり前だったコミュニケーションを取る事ができなかつたですもんね。

澤田 講義はほぼ対面になったんですが、飲食を伴うイベントに関しては全面解禁とはいかず、人数制限や細かい制約があるし、常にそのときの状況を見ながら、注意深く判断し

なければならぬです。

コロナ禍の当初は、教員もオンラインでの講義や課題の準備など、これまでにない対応をしなければならなかつた。そうしたことに長けている人ばかりではないので、サポートをする職員も大変だつたと思います。

だから講義以外で、学生同士が直接交流を持てるような取り組みというのは、なかなかできませんでした。それでも何かできることはないかと、前学長のサコさん主導で、「リモート花火大会」というのを開催したこともあります。

永井 仕方ない状況だつたとはいえ、正直僕もオンラインで話すのはあまり好きじゃないですね。何だか冷たい感じがするというか、やっぱり直接会って、表情を見て話したいじゃないですか。話しているうちに、だんだん面白いほうに転がっていくというか。大事な話ほど、対面で話すのが絶対にいいと思っ

澤田 その流れで言うと、リモートの講義では「通信環境が悪くて、ちょっと顔を映せません」と書き込んでしまえば、講義中に違うことをやってもわからない。だから

ちゃんと聞いていたか、確認のために課題を出すんです。これまでは講義後にコメントカードを書くくらいで良かったのが、各回がつり課題が出るので、学生はずっとそれに追われているし、教員側も、毎回ちゃんとした課題を用意して、確認もしなければならぬ。リモート講義のほうが大変でしたね。

2022年度の木野祭が中止・延期に

永井 今年度の木野祭が学生の有志で立ち上がっていましたが、延期になってしまったのは残念でした。

澤田 そうですね。本学に危害を加えるという内容の手紙が直前に届いてしまい、入場予約なども開始していた状態だつたんですけど、安全性を確保するのに十分な時間が取れない以上、開催することはできないので、止むを得ず2月に延期することになりました。

永井 学生たちが懸命に準備をしてきて、やっと開催できるというところで、なんて理不尽なことをするんだと、本当に腹が立ちました。

澤田 未だに犯人が捕まっていないことも

あり、安全確保に向けて色々な対策をしなければなりません。学内のスケジューリング的に、卒業の搬入日と被る日しか空いていなかったもので、その面でも学生たちは大変かと思うのですが、何とか開催できるようにサポートしていきたいと思います。

卒業後の大学や同窓生との繋がりをつくりたい

永井 僕は、クラブ活動も木野祭もバイトもと、とにかく学生生活を満喫しました。それでいまだに続く関係性を築くことができたので、どこか恩返しのような気持ちもあって、同窓会会長を務めているところがあります。

僕らの時代には精華大前駅はなかったとか、春秋館は遠かったとかいう共通の話題から、同じ空気感の中で過ごした人たちだとすぐに打ち解けられるし、信頼できる人たちだと担保されている気がするんですよ。同窓会の活動で出会った先輩と一緒に仕事をすることになったメンバーや、旅行で別の支部のメンバーに会うなど、色々な広がりがあります。一方で、下の世代や、新たに同窓会の活動への参加を呼びかけるなどは、連絡手段のこともあって、難しいなと感じています。

永井 木野会には韓国支部があつて、韓国に行ったときに一緒にお酒を飲みました。そうやって色々なところに訪ねる先があつて、年齢関係なく付き合える人がいるというのも、同窓会のよさのひとつだと思います。

澤田 大学全体としては2021年に「2024SEIKA」という4カ年のビジョンを定めています。その大きな柱の一つが「グローバルな大学」。人文系と芸術・デザイン・マンガという幅広い分野があり、外国籍の教員も複数名在籍しています。これまで留学生の受け入れも少なくはなかったけれど、コロナによる入国規制も緩和されてきたので、受け入れも留学にも、一層力を入れてきたいと思っています。僕も学生時代にフィールドワークなどでお世話になった人たちがいて、そのときの記憶や関係が、一生続くものになっています。今の学生たちにも、そういう機会を広げて、様々な関係を築いて欲しいと思っています。

これからの大学と卒業生へのメッセージ

ので、「ホームカミングデー」など、今後もっと連携して何かできればいいと思います。

永井 そうですね。ただ、やはり予算的な部分もあるし、同窓生への連絡も含めて、大学としっかり連携してやれたらと思います。節目の開催として考えるなら、60周年

澤田 そついうときに例えば、退職された教職員もお誘いして、そこで一緒にお話することができたら面白いですよ。

永井 まさに創立40周年のときに、木野会主催で、木野祭に合わせて「ホームカミングデー」を開催しました。バスをチャーターして、各支部の人たちにまとまって来てもらいました。あの企画は今でも良かったと言ってもらいますね。

澤田 卒業して社会に出ると、学生時代のようには損得なく付き合える人と出会うのは、なかなか難しいと実感しますよね。昔は木野祭や卒業に、卒業生が結構来てくれていました。今は予約制になってしまい、人数の関係もあるし、当日にふらつと立ち寄るといふことができなくなつてしまつたんですけれど。だからそういう時期に合わせて、アメリカでやっているような、大学が卒業生を迎える「ホームカミングデー」をやつたらいいのでは、という話が出たこともありますね。

（2028年）とかですかね。

澤田 少し話がそれるかもしれませんが、現状、卒業生に対して大学側から直接連絡をする手段というのがあまりないんですよ。在学中のメールアドレスは卒業すると使えなくなるし、担当教員が個別に連絡をとつているということはあるかもしれませんが、大学として全ての卒業生から個人情報を集めることはできません。卒業後にも卒業や木野祭、ホームカミングデーのようなイベントの案内などを、気軽に送れる仕組みみたいなものがあれば、とは思っているんですよ。

永井 今回の『精華人』は最新号からバックナンバーまで全て、オンラインで読めるようになっていきます。メールアドレスをオンラインで登録すると、情報が配信されたり、閲覧できたりできるような仕組みがあると思いますよ。

下の世代の卒業生たちに同窓会のことを知ってもらふ機会として、卒業式で同窓会会長として挨拶してPRしたり、冊子にした『精華人』を配布したり、20年の卒業から「木野会賞」を新設し、活動を支援しています。

これまで大学側と同窓会側で協力して何かをやる機会というのはなかなか持てなかつた

澤田 私がこの大学に来た頃と比べると、周辺環境も色々変わりました。大学前に大きな道路が通つたり、教室の建て替えがあつたり。でも、周囲の山々の景色や、教員と職員の雰囲気や、学生同士が作り出す精華特有の空気は変わつてないと思います。この間昼休みに、久しぶりに外で歌を歌っている人たちを見かけました。こういうのは、やっていいと言われてやるものじゃなく、自然発生的に出てくるものなんですよね。また賑やかになっていくことを楽しみにしています。建物が変わつたりしても、そういう本来の良さは変わっていない。だからぜひ卒業や木野祭、またホームカミングデーなどの企画で、そういう空気を感じてもらいたいんです。

永井 木野会は支部によって活動内容が違います。まずは自分の住んでいる地域にも、同窓生がいるということを知ってもらえるような取り組みを行つていきたいと思つています。ぜひ参加してください。60周年に向けた取り組みも、大学と連携しながら楽しいことを考えていきたいと思つています。

京都精華大学 学長

澤田 昌人（さわだ まさと）

2022年度より京都精華大学 学長。京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了。理学博士。山口大学教育学部講師を経て、本学に赴任。アフリカ熱帯雨林に住む狩猟採集民、農耕民の世界観についての研究、および中部アフリカの現代史に関する研究を行う。

京都精華大学 同窓会 木野会 会長

永井 利行（ながい としゆき）

1995年度 京都精華大学 人文学部 卒業



京都精華大学 HISTORY MAP

みなさんが通っていた時の大学は
どんな様子でしたか？
どんな日々を過ごされましたか？
昔の写真やエピソードを通して、
自分の「セイカ」を思い出してみよう！



建設前の
大学周辺の様子。

大学建設前は山と田んぼ
しかない土地やったんやな



みんな知ってた？
鹿野苑の鹿達は広島県宮島の
「鹿寄贈します」の新聞記事を
見て申し込み、譲り受けたんだ。



第8代学長
中尾 ハジメ

誰かの作品があちこちに残ってる
のは、昔からなん？



1969年に建設された3号館と5号館。当時
5号館は簡素なプレハブ作りだったが、1978年
に現在の建物に建て替えられた。



短期大学時代の銘板。

京都精華大学は1968年に
開設。はじめは短期大学で英
語英文科と美術科の2学科
からスタートし、その後1979
年に短大から4年制になった
んやで。



初代学長
岡本 清一

モアイ像は今、流溪館の
入口に移動してるよ！



人文学部ができたのは
1989年やねん！



1996年に建設された情報館。収容・設置された資料や設備
は3,000人ほどの学生数に対してとても充実した内容だった。

外国人観光客に日本文化を正
しく紹介できる人を育てるための
英語英文科の人材養成コースは、
当時は他大学にはほとんどな
く珍しかったんだよ。



第12代学長
ウスビ・サコ

バイク駐輪場



至・鞍馬



第1回目の卒業証書は、後輩の
学生たちがシルクスクリーンで
印刷した牛革製やったんやで！



第5代学長
笠原 芳光

学内に捨てられていたゴムボートで
天ヶ池に漕ぎ出た学生がいたらしい。
でもなんと、穴が開いて沈没し
ちゃったんだって。



人気の伝統産業・工芸の現場へ
体験実習できる学外実習制度は
1980年にはじまったの。



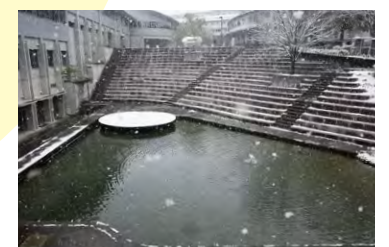
第11代学長
竹宮 恵子



NEW!



1988年頃の上空写真。叡山電車「京都精華
大学前」駅はまだ建設されていない。



学生たちにとって憩いの場所でもある天ヶ池
は1997年に情報館・黎明館・悠々館と共に
建設された。

至・出町柳

東海支部

Tokai Branch

「名古屋提灯」製作体験

コロナ禍により中断していた東海支部イベントを、3年振りに実施。今回は、名古屋駅近くの円頓寺商店街の伏谷商店「わざもん茶屋」さんで、伝統工芸品「名古屋提灯」の製作体験です。コロナ感染を避ける為、限定10人の定員でしたが、東京在住の呉宏明先生（人文）をはじめ、東海イベント初参加の方も多く来てくれました。

色和紙を選ぶところから始まり、竹ひごに糊を打ち、黙々と和紙を張りドライヤーで乾燥させて、世界に1つしかないオリジナル提灯の出来上がり。皆さん、出来栄えに満足していました。

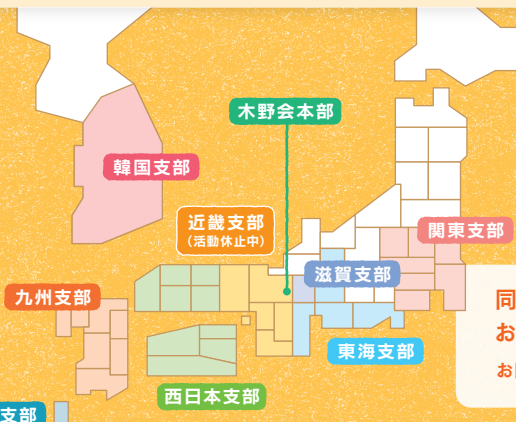
今イベントの製作講師で、職人でもある伏谷社長から、提灯製作に関する技術的な話をして頂いた事も、「ものづくり」を考える上での参考になりました。

製作後は、円頓寺銀座街の昭和感漂うお店で、懇親会を行いました。年代の差はあれども「心が学生時代へ戻る」貴重なひと時でした。

今後も楽しいイベントを実施しますので、興味がありましたら東海支部イベントに参加してみてください。



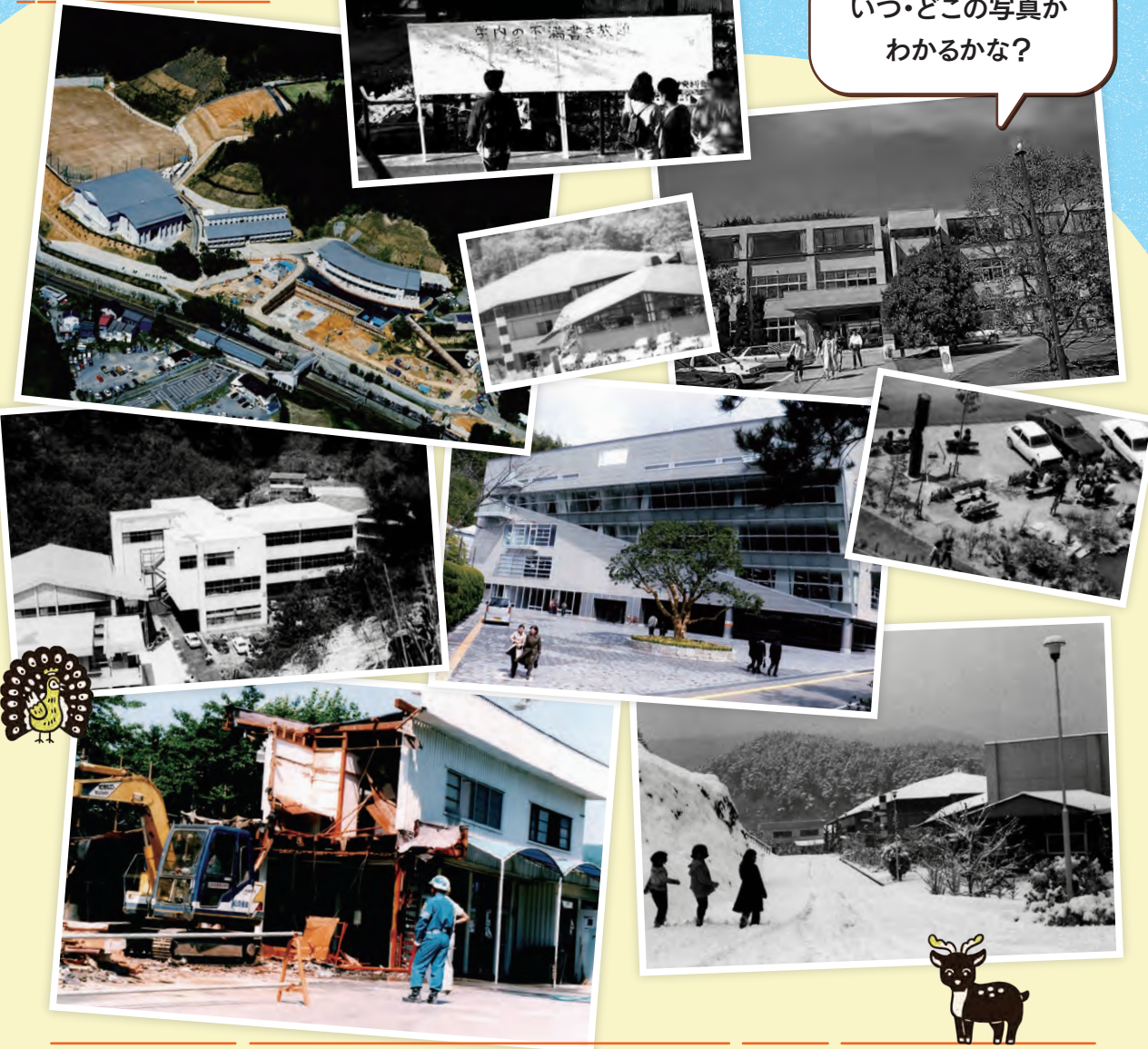
製作の様子



同窓会へ参加したい方、会報誌掲載企画のご要望など、お気軽にお問い合わせください！

お問合せ先 kinokai@kyoto-seika.ac.jp (木野会事務局)

HISTORY MAP



いつ・どこの写真かわかるかな？



参照：「京都精華大学の50年」

岡本清一が掲げた「自由自治」
キャンパスには、2005年、岡本清一の生誕百年に合わせて立てられた、「自由自治」の石碑があります。
短期大学が創立された1968年、岡本は「学生生活の葉」に、新聞活字の「自由自治」を掲げました。
〈この庶民の心をあらわすために、高名者の揮毫を俟たずして、敢えて上のように新聞活字をもってすることにした。〉
〈いつか、みんなの協力によって、この四文字が石に刻まれて校庭に立てられる日が来るであろう。〉
葉に掲載された言葉の通り、石碑の四つの文字は、岡本によるものではなく、古い新聞の活字で刻まれています。
精華の歴史は誰か一人を象徴にして語るものではない。関わったすべての者が等しくつくりあげていくものだ。岡本はそういっていたのではないのでしょうか。
大学を取り巻く環境は、刻一刻と変化しています。しかし、岡本の掲げた「自由自治」は、いまもなお精華のなかに生き続けています。





積み重ねてきたことが 新しいチャンスに繋がる

イラストレーター・漫画家
福々ちえさん

夢を諦めた大学時代

子ども時代は漫画家に憧れて絵を描いていました。

精華大学でもマンガを専攻。といっても、当時は日本漫画を学べる大学はどこにもなく、カートゥーン（西洋漫画）だったのですが。

その時は私は40歳。

夢を追いかけるのはもう遅いだろうか？と一瞬悩みました。でもきつと、今やらないと後悔する……やろう！と決心。

それまでのイラストレーターとしての活動を休止して、漫画家になるべく動き出すことにしました。

全て無駄じゃなかった

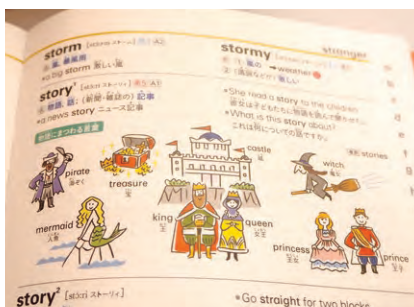
決心した日から一年後、コミックエッセイを出版しました。

こんなに早く結果が出るとは、と自分のことながら驚きです。

きっかけは、コミックエッセイ描き方講座



念願の初著書！



いろんな挿絵の仕事をしました。

在学中に漫画家アシスタントのアルバイトに挑戦した事がありました。

結果は不採用。時給は出ないけれど練習しに来たらいよいよ、と言われてサーツと気持ち引いてしまいました。本気で漫画家になりたければ「なにくそ！」と食らいつくはずですが、熱が冷めた私はそこまで本気ではなかったんでしようね。

大学4年間で自分の適正を知り、漫画家も、ましてやアーティストも無理と自覚して、職人イラストレーターを目指しました。

当時まだ3D(懐かしい)さえない時代です。ネット黎明期で「イラストレーターになりたい」と言った時の親の反対は、もつともだったなと思います。

クリエイターで生きるには厳しい時代でした。

今なら夢を叶えられる

卒業後、気づけばイラストレーターとして活動して15年以上経過しました。

絵のポートフォリオを作り、出版社に電話して、営業する。

オーソドックスなやり方で、主に書籍挿絵描きとして生計を立てていました。

に通ったこと。主宰されていたのが有名な編集者さんで「漫画家になろう！」と決心した日にネット検索し申し込みました。

その講座の卒業制作で描いた12P漫画が認められて、出版が決まったのです。

出版が決まった時に編集者さんに聞きました。「どっして私にチャンスを取ったのですか？」と。

なにせ私は講座に通うまで漫画をまともに描いた事がなく、卒業制作12Pを描くのも四苦八苦していたからです。出版するコミックエッセイは120ページ。描き上げられるかどうか、自分でも自信がありませんでした。

転換期は出産です。

子どもの成長絵日記を描きたいと思い、ついでにInstagramに投稿を始めました。気ままに投稿していただけですが、そこで頂けるコメントが思いのほか嬉しくっていつの間にか「絵の仕事」となっていた私でしたが、久しぶりに「楽しいから絵を描く」という気持ちを出しました。

改めてSNSをじっくり見て、びっくり。漫画を描いて生活しているらしい方々がいる！それまで無骨に目の前の仕事をこなすだけの私でしたが、ネットでは仕事が多様化していたんですね。まさに浦島太郎気分でした。

20年前の漫画家といえば「雑誌に連載して、単行本を描いて、収入を得る」という方法しがなく、選ばれし者だけの職業でした。

でも今はSNSで漫画を自主連載し、掲載しているWEBメディアからの報酬や、PRをして企業から報酬を貰ったり。電子書籍であれば、自分で出版販売まで可能です。

実際にそうして暮らしている方の存在を知り、パアアアッと目の前が広がるような感覚がありました。

「今なら私も漫画家になれる！」と気づいたので。

でも編集者さんは「これまでイラストレーターとして沢山描いてきた人だから、必ず仕上げられる」とおっしゃいました。

つまり今までの活動の実績と信頼が、新しいチャンスを掴んだということでした。

漫画家の夢から遠回りしていた私ですが、その言葉で「今までやってきたことは無駄じゃなかったんだ」と報われた気持ちでした。

まだ私の夢は叶ったばかり。

漫画でもっと本を出したいし、絵本も描いてみたい。夢は増えるばかりです。夢を自由に持てる時代に生きていてよかったです！

子どもにも「夢見る母親」の背中を見て貰おうと思います。

イラストレーター・漫画家

福々ちえ (ふくふくちえ)

2001年度 芸術学部デザイン学科マンガ分野 卒業

URL <https://fukufukuchie.com/>

Twitter @fukufuku_comic

Instagram @fukufuku_comic

大阪・某デザイン会社にて営業兼イラストレーターとして勤務。3年間働いた後に、単身上京。2006年、イラストレーター活動開始。書籍雑誌を中心に、挿絵を描く。2020年、漫画家活動開始。翌年コミックエッセイを出版する。



一味違う四駆のカスタム、 支持された背景には 立体造形で培った視点

4WD専門カーショップ
「4WD PROJECT」社長
西川 和久 さん

見たこと。「何？これ」「カッコいい！」と思い、直ぐに紀伊國屋書店に行つて、四駆(※2)に関する本を探しました。でも当時は今のような車雑誌は少なく、やっと見つけた四駆のミニ本を毎日読んでいましたね。車に興味を持ちつつも、卒業後は家業の造園業に就きました。その後、仕事で四駆乗りの人に出会ったことをきっかけに仲間が増え、さらに車にのめり込んでいきました。そんななか、仲間が車のショップを他県で開店するという話になり、一緒にやらないかという誘いの声。10年続けた造園業を辞め、相乗りする形で、滋賀県で4WD専門のカーショップ「4WD PROJECT」を開業しました。店を始めて、今年の夏で35年になります。

「トメッセ」というカスタムカー中心のモーターショーにも長年出展していて、カスタムした車の良さや楽しさを来場者に知ってもらう活動も続けています。

最近アウトドアブームの影響もあって、若い女性がカスタムしたジムニーに乗り、ソロキャンプに行くなど4WDの人気が高まっている。現在は購入するのに1年待ちになっているくらいです。一方で、排出ガス規制など、環境問題への対策で厳しい部分もあります。ただ、それを越えた4WDの楽しさを知ってもらえるよう、様々な取り組みに力を入れています。

4WDの楽しさを伝えるため、 多様なイベントを開催

立体造形での視点が活きた、 カスタムが支持されて

「4WD PROJECT」と普通の車屋さんの違いは、カスタムセンスの良さが支持されたところでしょうか。店をはじめた当時、4WDに乗るような人は富裕層が多く、みなさん流行りに敏感でハイセンスな人たちがかりでした。精華で学んだ立体造形の視点を生かしたカスタムカーは「格好良い！」と評判で、それが今まで続いているのだと思います。「大阪オー

きっかけは在学中に見た、 先輩の「ジムニー」

今の仕事につながるきっかけは、精華短期大学在学中に先輩が乗っていたジムニー(※1)を

ために、常に安全第一であることを心がけて、イベント準備をしています。

アジアンラリーにメカニックとして参戦

私にとって最も大きな挑戦は、2017年から2019年の3年にわたり「Asia Cross Country Rally(※4)」に参戦したこと。私自身、10年間4WDのダートレースを主催していたのですが、そのレースをずっと手伝ってきたさつていたラリースト(※5)の山本氏・辻本氏(チーム・あきんど号)からの誘いを受けて、メカニックとして参加したんです。競技車両に乗り込んで、タイ・ミャンマー・ラオス・

カンボジアと一緒に走り、世界を見たことよって、4WDはますます世の中に必要な車だなと感じました。

精華の卒業生であることを 誇りに思っている

今振り返っても、大学在学中は毎日楽しくて仕方がなかったという思い出ばかりです。もちろん課題はキツチリやっていました。講義以外の場で学んだこともたくさんあります。先生たちは遊びにも手を抜くことはなく、全力でした(笑)。2メートル以上の竹馬を作り学内を歩いたことや、先生の部屋で串揚げ

パーティーをしたことも良い思い出です。通常は、講義が無いと学校へ行かないと思うのですが、あまりにも楽しくて毎日通っていました。友人たちも同じでした。イベントを企画したり、いろいろなこと挑戦したり、今も「楽しい」と気持ちがあふくことを大切にできているのは、こうした思い出が少なからず影響しているかもしれません。65歳になろうとしているオヤジが現役の四駆屋でいられるのは、精華でジムニーを見たあの衝撃のおかげです。精華の卒業生であることを誇りに思っていますよ。

- ※1 スズキの4WD車。
- ※2 四輪駆動・4WDとも。
- ※3 サップ・サーフボードの上に立ち、パドルを漕いで水上を進むアクティビティ。
- ※4 総称：アジアンラリー。
- ※5 指定されたコースを一定条件のもと、2人1組でタイムを競うモータースポーツ「ラリー」の競技者。ラリードライバーとも。



4WDに触れられるきっかけになる
様々なイベントを企画



Asia Cross Country Rally参加時の様子

4WD専門カーショップ「4WD PROJECT」社長

西川和久 (にしかわ かずひさ)

1978年度 京都精華大学短期大学 美術科立体造形
コース 卒業

URL <http://www.4wdproject.com/>

4WD PROJECT

〒523-0856 滋賀県近江八幡市音羽町10



自分らしさを大切に、 人生を切り拓く

エステティシャン・
ビューティーカウンセラー、
LGBTQ+・
トランスジェンダーアクティビスト

高野 晶^{あき}さん

自分らしく働くまで

大学卒業時にセクシュアリティの悩みを抱えていた私は、一時期大阪のニューハーフクラ

ブに勤めてみるも、ここは自分らしく働ける世界ではないと痛感し、香川に帰郷。不本意ながら男性として就活し、デザイン会社に就職しますが、不規則な生活と根を詰める性格で体調を崩し、2年で退職。

自分が好きで長く続けたいことは何か考えた末、美容系形成外科のエステティシャン・ビューティーカウンセラーに女性として転身、勤続20年を迎えました。幼少期から興味のあった占いの資格も取り、カウンセリングに取り入れています。また地元のTV番組に、ビューティーアドバイザーや、LGBTQ+のアクティビストとして出演することもあります。

私はトランスジェンダーの当事者でもあり、32歳でようやく性別適合手術を受けることができ、戸籍の性別を男性から女性に変更しました。

転職活動を行っていたのは戸籍変更前で、当時は今よりもトランスジェンダーへの理解が乏しく、偏見や差別と闘わなければならない場面がありました。その少し前から参加していたLGBTQ+のサポートグループ「プラウド香川」のメンバーに相談したことで、私に対する問題は改善されたのですが、先方の担当者への態度には疑問が残りました。そのことも一因で、理解を深めてもらうための社

会活動に取り組むようになりました。教育機関や行政、企業などでの講演や研修だけでなく、LGBTQ+をエンパワーメントするイベントにも携わり、年々規模を拡大しています。

社会活動が認められて

2012年には「わたしが目醒めるプロジェクト」に、トランスジェンダーであることをカミングアウトして挑み、選出されました。世界的フォトグラファーのレスリー・キーが投票で選ばれた100人の女性を撮影する企画で、大学時代の親友やクラスメイトが熱心に応援、協力してくれたことは、今でもとても感謝しています。

18年には、レスリーが関わるカミングアウト・フォト・プロジェクトの四国初開催『OUT IN JAPAN SETOUCHI』代表に就任。日本各地でLGBTQ+を撮影し、写真展を開催するというプロジェクトで、参加者やサポートして下さった行政や企業の方々、それを観た人たちの意識を変えるきっかけにできたと思います。

そして昨年、これまでの社会的な活動が認められ、世界四大ミス・コンテストの日本代表を決める地方予選「ミス・アリス・ジャパン香川大会」でビューティーアドバイザーを

務めました。ミスコンは見た目の美しさだけではなく、オピニオンリーダーになれる女性を育てるのが目的。参加者が自分にとっての喜びを意識しながら、世界に影響を与えられる人に成長し、輝きを増していく姿に自身の生き方が重なり、とても感動し、また私も成長することができました。

自分らしさを見失わない

精華大学には、カミングアウトしてもしなくとも、それぞれの個性を認め、自然と協調し

ていくような雰囲気がありました。ただ優いだけではなく、ブレない「自分」をしっかり持っている人が多かった。それは私にとって良い環境でしたし、私自身もそうであるべきだと思っています。

私の人生には常に挑戦すべきことが現れましたが、それは「自分らしい生き方」をしようという決め、そこに向かっていくからに他なりません。そんな本来の自分の姿を見失わないよう、いつも心掛けています。自分が喜びを感じられる時間を少しでも持つこと、そうして純粋な気持ちで力を注いだことは自然と拡

がり、周りにも良い影響を与えるようになり、ます。同じ精華出身の方たちにはこれからも、そうあって欲しいと思っています。



カミングアウト・フォト・プロジェクト『OUT IN JAPAN』にて。

Photographed by Leslie Kee



『2022ミス・アリス・ジャパン』日本大会にて。香川県初4位入賞ミス・ファイヤーに輝いた加藤理子さんと。

エステティシャン・ビューティーカウンセラー、
LGBTQ+・トランスジェンダーアクティビスト

高野 晶 (たかの あき)

1998年度 京都精華大学美術学部デザイン学科
ビジュアルコミュニケーションデザイン分野 卒業

デザイン会社に勤務後、エステティシャン、ビューティーカウンセラーに転身。トランスジェンダー当事者で、09年に性別適合手術を受け、高松市で初めて戸籍を男性から女性に変更した。LGBTQ+アクティビストとして、学校や行政、企業などへの講演活動や当事者支援も行っている。

収入の部

科目	摘要	予算	決算	差額
前年度繰越金	2020年度より繰越	20,264,984	20,264,984	0
会費収入	2021年度振替	10,270,000	10,770,000	▲500,000
	既卒業生、在学生	0	10,000	▲10,000
	小計	30,534,984	31,044,984	▲510,000
寄付金		0	0	0
受取利息(注1)		800	652	148
総計		30,535,784	31,045,636	▲509,852

支出の部

科目	摘要	予算	決算	差額
事業費①	会報全般	2,500,000	824,039	1,675,961
事業費②	総会 懇親会費	50,000	0	50,000
事業費③	ホームページ管理費・更新費	200,000	113,520	86,480
事業費④	卒業式(花・交通費)	300,000	476,850	▲176,850
事業費⑤	在学生支援	1,000,000	1,000,000	0
事業費⑥	卒業生支援	200,000	0	200,000
	小計	4,250,000	2,414,409	1,835,591
支部補助費	西日本支部	68,000	0	68,000
	滋賀支部	58,000	11,280	46,720
	東海支部	60,270	2,039	58,231
	近畿支部	0	0	0
	九州支部	221,000	0	221,000
	沖縄支部	58,500	0	58,500
	韓国支部	130,000	0	130,000
	関東支部	50,000	0	50,000
	小計	645,770	13,319	632,451
支部イベント費	西日本支部	0	0	0
	滋賀支部	0	0	0
	東海支部	100,320	0	100,320
	近畿支部	0	0	0
	九州支部	147,682	0	147,682
	沖縄支部	0	0	0
	韓国支部	100,000	0	100,000
	関東支部	0	0	0
	イベント予備費(通信費含む)	0	0	0
	小計	348,002	0	348,002
旅費、交通費	理事会5回、役員会、総会等	500,000	127,476	372,524
事務局人件費	1名	1,500,000	1,421,201	78,799
会議費	理事会5回、常任理事会等	30,000	8,290	21,710
通信費	発送費等	20,000	13,090	6,910
事務費		20,000	12,000	8,000
慶弔費		30,000	0	30,000
振込手数料		70,000	0	70,000
前年度未処理郵送費※1		0	7,575	▲7,575
前年度過剰経常利子分※2		0	2	▲2
予備費		100,000	0	100,000
小計		2,270,000	1,589,634	680,366
次年度繰越金		23,022,012	27,028,274	▲4,006,262
総計		30,535,784	31,045,636	▲509,852

*収入の部の▲印は予算額より決算額の増額を、支出の部の▲印は決算額の予算超過を意味します。
 ※1:大学本部で執行済みの7575円を2020年度決算時に計上できていませんでした
 ※2:九州支部利子分に関して2円分を2020年度決算時に重複して計上してありました

支部補助金繰越明細

西日本支部	59,110
滋賀支部	46,720
東海支部	58,231
関東支部	50,000
近畿支部	0
九州支部	345,750
沖縄支部	58,500
韓国支部	20,500
小計	638,811

大学口座繰越分 25,804,308 利子分含む

ゆうちょ口座 403,293 利子分含む

受取利息計 2 九州支部分

資金有高 27,028,274

注1. 各支部受取利息

大学	646
本部	4
九州支部	2
小計	652

支部イベント費残高繰越明細

東海支部	39,910
韓国支部	69,700
九州支部	72,250
小計	181,860

木野会は2022年度の在学生支援事業として、「京都精華大学展 2023卒業・修了発表展」への支援を行いました。この卒業・修了発表展は2017年度から大学キャンパス内で実施されており、今年度は2023年2月15日から19日まで開催されました。

木野会からの支援金は、新型コロナウイルスによる感染予防対策の一環として特設サイトでの入場予約システムの運用資金や受付に配置したサーマルカメラのレンタル、学内の誘導看板等に加え、「木野会賞」の賞金に充てられました。

受賞者には3月21日の卒業式・学位授与式の際に賞が授与されます。

木野会賞受賞者は次の通りです。おめでとうございます。

- 泉本 紗也 さん (芸術学部造形学科日本画専攻) 「16」
- 大西 はな さん (デザイン学部ビジュアルデザイン学科グラフィックデザインコース) 「君の声」
- 大串 有朋 さん (マンガ学部マンガ学科ストーリーマンガコース) 「サマー・シャーク・シスターズ」
- 檜垣 星牙 さん (ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科音楽コース) 「食品スーパー『サンクスマルシェ GreenSmile』における店内BGMの研究と制作」
- 本坊 友莉亜 さん (人文学部総合人文学科文学専攻) 「桜の表現——西行を中心に」



京都精華大学展 2023 卒業・修了発表展の様子

木野会常任理事役割

役職	担当者	経歴
会長	永井 利行	092L、2021年度より木野会会長
副会長	斉藤 洋明	069P、2022年度より木野会副会長
事業担当	藤森 千景	078D、木野会常任理事
事務担当	竹田 亨	094D、2014年度より木野会常任理事
財務担当	舟津 潤	098L、2019年度より木野会常任理事
広報担当	北洞 美智子	085E、2020年度より木野会常任理事
	永田 千晃(理事)	098T、2021年度より木野会理事

2022年度専任教職員退職者

[専任教員]

- 国際文化学部人文学科 ●小椋 純一(社会専攻)
 芸術学部 造形学科 ●佐藤 光儀 ●渡邊 英之
 デザイン学部イラスト学科 ●西村 正幸
 マンガ学部マンガ学科 ●玉田 京子(カートゥーンコース) ●板橋 秀法(ストーリーマンガコース)
 ●荻原 征弥(ストーリーマンガコース) ●佐川 俊彦(ストーリーマンガコース)
 マンガ学部アニメーション学科 ●坂本 拓馬

[専任職員]

- 小坂 俊夫(総務グループ)

木野会 支部

木野会は1988年に設立してから34年。
会員数は現在2万5千人を超え、7つの支部を展開。
あなたも年に1度は、木野会の活動にぜひ参加してください！
まずはお住まい最寄りの支部窓口まで。他地区の支部イベント参加も大歓迎です！

関東支部

✉ seika_kantou@yahoo.co.jp

支部の主な行事

東京散歩・食品サンプル作り、高尾山登山、ポーリング、バスツアー、成田ゆめ牧場 など



支部長
宮脇 誠

東海支部

✉ kugibat4649@yahoo.co.jp

支部の主な行事

東海支部イベントとして団体でしか参加できない様な体験学習(企画・ワークショップ) など



支部長
永井 利行

滋賀支部

✉ onelove_yu@yahoo.co.jp

支部の主な行事

7月しがらき火まつり(たいまつ奉納に参加)、12月支部会議 忘年会 など



支部長
北井 和歌子

西日本支部

✉ gate@chorus.ocn.ne.jp

支部の主な行事

非公式「瀬戸内国際芸術祭」ツアー など



支部長
秋山 善夫

九州支部

✉ east_river_up@yahoo.co.jp

支部の主な行事

四役会議(年2回)、支部イベント会議(年1~2回)、隔年で「木野Q展」と「支部イベント」 など



副支部長
齋藤 洋明

沖縄支部

✉ ryukyuseika@gmail.com

支部の主な行事

沖縄在住の精華卒業生で不定期に集まって近況報告を兼ねた呑み会 など



支部長
小野 晃生

韓国支部

✉ jineex@gmail.com

支部の主な行事

総会(年1回、総会議)、イベント(年1回、文化体験)、新年会、文化・芸術活動(展覧会) など



支部長
李 進熙
イジュンヒ

！その他の地域の皆さまへ

お近くに支部がない場合は、木野会本部までお知らせください。今後、会員からの要望があれば、北陸、中部、東北、北海道地区での支部の設立も検討したいと考えています。また近年、母校では留学生の数が増えていますので、台湾支部の復活など、海外支部の立上げも検討しています。

お問合せ先 kinokai@kyoto-seika.ac.jp(木野会事務局)

お問い合わせ 同窓会へ参加したい方、会報誌掲載企画のご要望など、お気軽にお問い合わせください！

京都精華大学同窓会「木野会」

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137(学校法人京都精華大学 経営企画グループ内)
TEL. 075-702-5201 FAX. 075-702-5391 MAIL. kinokai@kyoto-seika.ac.jp



● 会員情報の変更 ● 木野会総会のご案内 はウェブサイトから <https://seikajin.com/> ▶▶

SNS
更新中!



Facebook



Twitter



Youtube
「木野会きのちゃんねる」

Facebook <https://www.facebook.com/seikakinokai/>

Twitter <https://twitter.com/seikakinokai>

Youtube「木野会きのちゃんねる」 https://www.youtube.com/channel/UC_NoXK5ZbBQ3vpV15onY6Lg/featured